

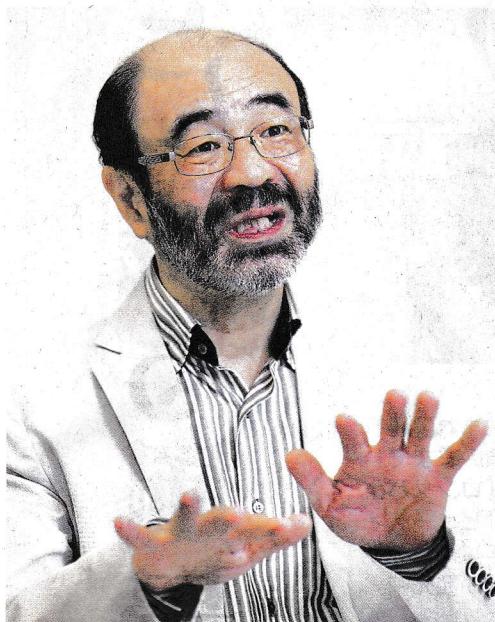
自然科学部門

『性の進化史』(新潮社・1404円)

毎日出版文化賞の人々

2

松田洋一さん



まつだ・よういち 三重県生まれ。名古屋大学大学院生命農学研究科教授。同大学大学院農学研究科修了（農学博士）。放射線医学総合研究所主任研究官などを経て現職。63歳。三山下浩一撮影

先人や仲間、またその面
さを世に伝えたいと思つ
いる方々の代表としてい
だいた賞だと思います」
受賞の喜びをそう語る。
生物に関心を持つつきつ
けは小学生のころ、姉が
ども用の小さな顕微鏡を
つてくれたことだ。「池

水を集め、それでブランケットを貯めるのに熱中していました。早熟の少年は高校生のころから遺伝の研究者になりたかった。さらに決定的だったのは名古屋大学学院に進学して間もなく、動物の細胞をシャーレで培養し、染色体標本を作った。「その時顕微鏡

で染色体の形を見、とても美しいと思いました」。今に至る太く長い道が開いた瞬間だ。「染色体の数や形はどんなことを意味しているのだろう」。その問いを突き詰めてきた。

つてしまつ？」この分野に深い関心や知識がなくて、驚きと共に読み進める気になる。「ええ、これでまず興味を持つてもらひ、染色体についてじっくり読んでもらいたいと思いました」。狙いは成功した。

染色体の形を見た
美しいと思いました」。
に至る太く長い道が開いた
瞬間だ。染色体の数や
はどんなことを意味して
るのだろう。その問い合わせ
き詰めてきた。

読者に向けたものを書くのは初めて。「染色体とは何かを、できるだけ分かりやすく書きました。本当に難しかった」と振り返る。

万種の中には、環境により雄と雌の比率を変える生物や性転換する生物、性のない生き物もいる。ではなぜ、ヒトには雌雄同体がないの

地球の生物およそ175

原俊雄

גנוב